



(財)日本学校保健会の全国健康づくり推進学校表彰 小学校の部で「優秀校」を受賞

群馬県健康推進学校の「優良校」を4年連続受賞している実績により、群馬県教育委員会の推薦で、(財)日本学校保健会の全国健康づくり推進学校表彰に「活動状況報告書」を提出したところ、11月15日(火)に審査員3名(日本小児科医会会長、岡山大学大学院教授、全国学校保健主事会顧問)による学校訪問(保健活動の視察)があり、その後の審査会で、本校が「小学校の部の優秀校」に決定したことが、(財)日本学校保健会会長から11月30日付けで通知されました。

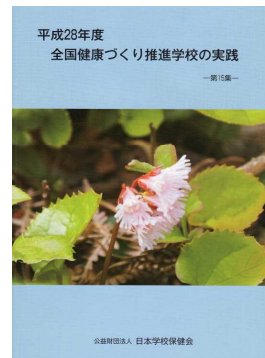
『心身ともに健康で安全な生活を自ら実践できる児童の育成～学校経営マネジメントプランを基盤にした健康教育～』を実践テーマにして、PDCAサイクルによる学校評価を活用しながら、「豊かな心を育成するための指導」、「心身の健康づくりのための指導」、「アウトメディアの指導」、「歯と口の健康づくりのための指導」、「望ましい学習習慣・生活習慣定着のための指導」などに取り組んできたことが評価されたと思っています。

<PDCAサイクル>

- ① Plan = 学校教育目標の達成と学校課題の解決を目指して“具体的な実践内容”を計画する。
- ② Do = 計画した“具体的な実践内容”を実践する。
- ③ Check = 実践した“具体的な実践内容”を学校評価によって検証・評価する。
- ④ Act = 評価の低かった“具体的な実践内容”の改善策を実践する。

ちなみに、小学校の部「最優秀校」受賞は3校、「優秀校」受賞は6校、「優良校」受賞は60校でした。

1月14日(土)の13:30から16:20に、東京都文京区本駒込にある日本医師会館で表彰式・実践発表会が開催され、校長と養護教諭が出席して、表彰状と記念品(トロフィー)をいただてきました。



【北小の取組が紹介された実践集】



＜上毛ジュニア俳壇＞に5年生の作品が掲載

5年生が国語の学習「日常を十七音で」で作った俳句を、担任が上毛新聞の＜上毛ジュニア俳壇＞に応募したところ、2名の作品が選者から評価され、12月15日(木)の新聞紙面(文芸欄)に掲載されました。

車窓から 秋風とおり 日がしずむ 田□ 寛□⑤

えびす講 みんなでいくよ わくわくと 那□ 光□⑤



つくしカフェ オープン



11月17日(木)と12月1日(木)の25分休みに職員室で行った販売学習「つくし八百屋」の売上金でケーキを作り、職員を招待する「つくしカフェ」が、12月21日(水)に時間限定(10:30~12:00)でオープンしました。

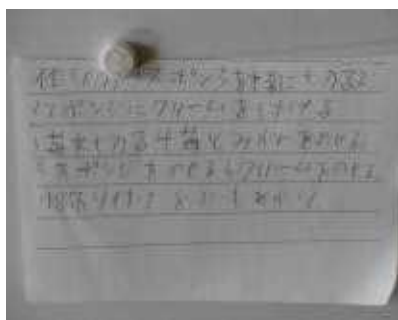
前日にCOOPで材料の買い出し(買い物学習)を行い、第2校時にみんなで協力して3種類のイチゴケーキを作りました。

来店するお客様に、「いらっしゃいませ」「どのケーキにしますか?」「おまちどおさまでした」「ありがとうございました」と元気に声を掛けて接客し、選んでもらったケーキを運んだり、紅茶を入れたり、洗い物をしたりしました。

買い物、招待状の作成・配付、作り方調べ、実際の調理、あいさつと接客、まとめの作文など、この＜つくしカフェ＞の一連の学習を通して、いろいろなことを具体的・経験的に学ぶことができたと思います。



【つくしカフェ入口】



【ケーキの作り方】



【ケーキを選んでもらいます】



【ケーキを運びます】



【紅茶を用意します】



【次の段取りを考えます】



「道徳の時間」が「特別の教科＝道徳科」へ

小学校は平成30年度から 中学校は平成31年度から

平成27年3月に、学校教育法施行規則の一部が改正され、小中学校の教育課程における「道徳」が「特別の教科＝道徳科」となり、小学校では平成30年度から導入されます。

これは、一人一人の児童生徒が、時として対立も生じる多様な価値観に誠実に向き合い、答えが一つではない課題を道徳的な問題と捉えて解決していけるような資質を身に付けさせることが目的で、授業の進め方は、「考える道徳」「議論する道徳」へと大きく転換していきます。なお、評価についてはこれまでどおりで、数値による評価は行いません。